

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 しほたる  
 ①涙を流す ②不平を言う ③悲しみ嘆く ④差し支える
- 2 ことなり  
 ①急である ②むだである ③凡庸である ④別である
- 3 たばかり  
 ①移動する ②訴える ③だます ④取り締まる
- 4 しるし(著し)  
 ①端正だ ②立派だ ③明白だ ④冷淡だ
- 5 おほけなし  
 ①身の程知らずだ ②うつつうしい ③取るに足りない ④物足りない
- 「B」次の文の(訳)の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 6 門強くさせ。(枕草子)  
 (訳)門をしつかり「」。  
 ①守れ ②見よ ③開けよ ④閉めろ
- 7 さは、三条院の、御末は絶えねとおぼしめし、おきてさせ給ふか。(大鏡)  
 (訳)それでは、三条院が、ご自身の皇統は絶えてしまえとお思いになり、「」なされたのか。  
 ①辞退し ②きちんとお考え ③あらかじめ決め ④抵抗し
- 8 女もいやしければ、すまふ力なし。(伊勢物語)  
 (訳)女も(下女で)身分が低いので、(男の親に)「」力はない。  
 ①訴える ②許しを得る ③抵抗する ④説明する
- 9 女、いと思はずに、似たる声かなとまで、あさましようおぼゆ。(堤中納言物語)  
 (訳)女は、実に「」、「(夫の声と)そっくりな声だなあとまで、驚きあきれるばかりに思われる。  
 ①思いあまって ②思った以上に ③思ったとおりに ④思いがけなく
- 10 堀川相国は、美男のたのしき人にて、そのこととなく過差を好み給ひけり。(徒然草)  
 (訳)堀川太政大臣は、美男子で「」人で、何事につけても贅沢を好みなされた。  
 ①好色な ②風流な ③裕福な ④愉快な
- 11 見し夢を、心一つに思ひあはせて、また語る人もなきが、いみじういぶせくもあるかな。(源氏物語)  
 (訳)かつて見た夢を、自分一人の心の中で解き明かして、ほかに打ち明ける人もいないことの、ひどく「」もあることだよ。  
 ①気が晴れなく ②堪えがたく ③もの寂しく ④むなしく
- 12 いとらうらうじく、歌詠み給ふことも、おとうとたち、御息所よりもまさりてなむいますかりける。(大和物語)  
 (訳)(故御息所の姉は)とても「」て、歌をお詠みになることも、妹たちや、御息所よりもすぐれていらっしやった。  
 ①すばらしく ②もの慣れてい ③おそれ多く ④大人びてい
- 13 それにこそ、菅原の大臣、御心のままにまつりごち給ひけれ。(大鏡)  
 (訳)そのために、菅原の大臣(＝道真)は、お思いのままに「」なされた。  
 ①儀礼を司り ②振る舞い ③政治を行い ④人を使い
- 14 今日(は)都のみぞ思ひやらる。(土佐日記)  
 (訳)今日は都のことばかりが自然と「」れる。  
 ①懐かしく思わ ②心配さ ③想像さ ④思い出さ
- 15 しばし見るもむくつけければ、往ぬ。(堤中納言物語)  
 (訳)(男は女の顔を)ちよつとも見るのも「」ので、立ち去った。  
 ①嫌である ②ばかばかしい ③不気味である ④腹立たしい

解答

【新二年生用】 古文単語330三訂版 P 258 ～ P 267

- 1 ( ① )
- 2 ( ④ )
- 3 ( ③ )
- 4 ( ③ )
- 5 ( ① )
- 6 ( ④ )
- 7 ( ③ )
- 8 ( ③ )
- 9 ( ④ )
- 10 ( ③ )
- 11 ( ① )
- 12 ( ② )
- 13 ( ③ )
- 14 ( ③ )
- 15 ( ③ )